

「AP工法」—アフタープロテクションによる湿式吹付耐震補強工法—
(一財)日本建築防災協会の技術評価を取得(建防災発第16020号)

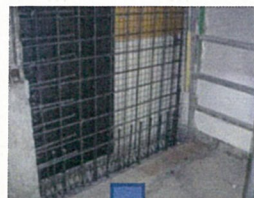
駐車禁止

居ながら

工期短縮

型枠搬入制限

CASE 1



▲施工前



▲施工中



▲施工後

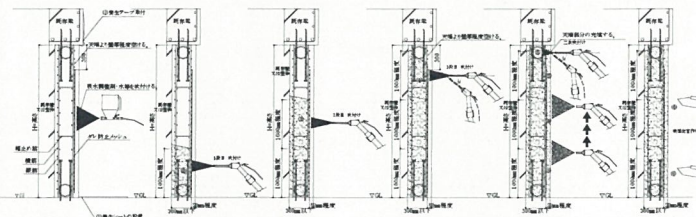


▲テナントの周囲は道路が狭い

①型枠の持ち込みが困難であった。②上記の写真の通り、駐車禁止且つ道路幅が狭く、ポンプ車、生コン車の停車が困難であった。③型枠の搬入が困難であった。④居ながら施工が可能であるが、施工当時はテナントが空いていた。



①養生設置 ②一歩撤去 ③一歩撤去 ④一歩撤去 ⑤一歩撤去 ⑥一歩撤去



▲AP工法施工概略図

AP工法協会
TEL: 03-6701-1371
FAX: 03-6701-1376

DATA

築年数: 築〇〇年()
構造・規模: RC造(地上3階建て)
施工数量: 10.6㎡(壁3カ所)
吹付け厚: 300mm
工事期間: 14日

偏狭物件の耐震改修事例 駐車禁止・型枠の持ち込み困難な

テナントビル●東京都

「AP工法」—アフタープロテクションによる湿式吹付耐震補強工法—
(一財)日本建築防災協会の技術評価を取得(建防災発第16020号)

駐車禁止

居ながら

工期短縮

型枠搬入制限

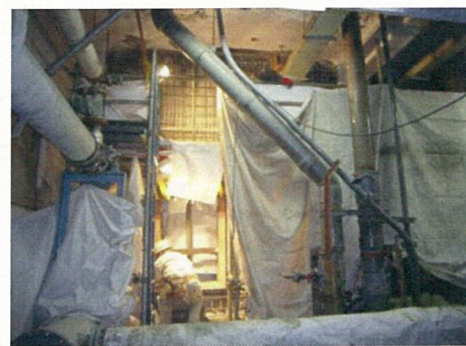
CASE 2



▲施工後①



▲施工後②

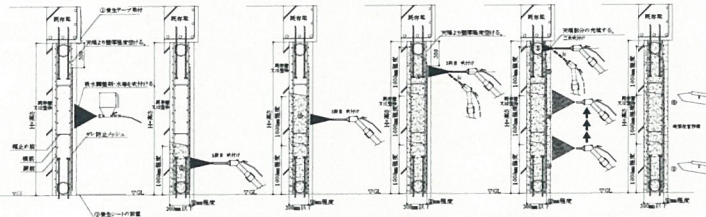


▲施工中テナントの周囲は道路が狭い

①型枠の持ち込みが困難であった。②上記の写真の通り、配管が増し打ち箇所周囲に配置され、型枠の設置が困難であった。④居ながら施工が可能であり、工場を移動させたまま施工を行うことができた。



①養生設置 ②一歩撤去 ③一歩撤去 ④一歩撤去 ⑤一歩撤去 ⑥一歩撤去



▲AP工法施工概略図

AP工法協会
TEL: 03-6701-1371
FAX: 03-6701-1376

DATA

築年数: 築〇〇年()
構造・規模: RC造(地上3階建て)
施工数量: 4.0㎡(壁1カ所)
吹付け厚: 300mm
工事期間: 14日

工場建屋内、型枠の設置困難な 偏狭物件の耐震改修事例

工場建屋●岡山県

「AP工法」—アフタープロテクションによる湿式吹付耐震補強工法—
(一財)日本建築防災協会の技術評価を取得(建防災発第16020号)

ブロック壁

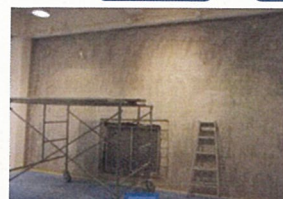
駐車禁止

居ながら

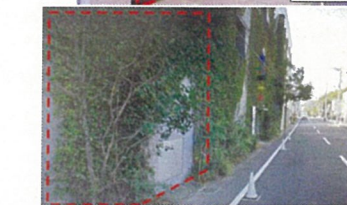
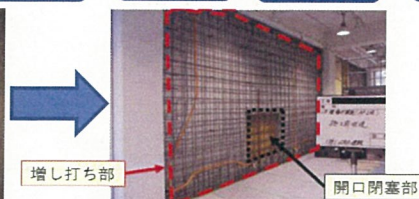
工期短縮

近隣への影響

CASE 3



▲施工後

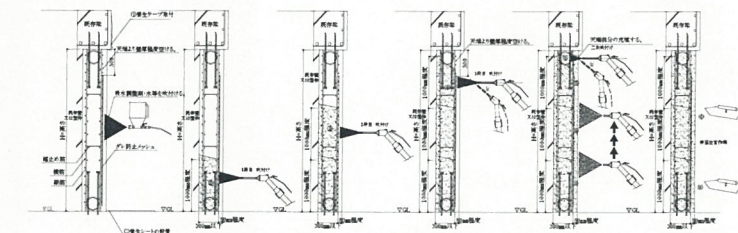


計画では既存壁(ブロック壁)を撤去し、在来工法でRC壁を新設を検討するも、オーナー様より外壁の蔭を残してほしいと要望があり、既存ブロック壁の倒壊防止措置が困難な為、AP工法が採用された。



既存ブロック壁への増し打ちを行った
耐震改修事例①

テナントビル ● 東京都



▲AP工法施工概略図

AP工法協会
TEL: 03-6701-1371
FAX: 03-6701-1376

DATA

築年数: 築〇〇年()
構造・規模: RC造(地上〇階建て)
施工数量: 約9.0m(壁3カ所)
吹付け厚: 300mm
工事期間: 10日

「AP工法」—アフタープロテクションによる湿式吹付耐震補強工法—
(一財)日本建築防災協会の技術評価を取得(建防災発第16020号)

ブロック壁

駐車禁止

居ながら

工期短縮

隣室への入室不要

近隣への影響

CASE 4



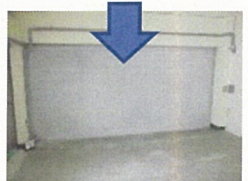
▲施工前: RC増し打ち補強箇所



▲施工中①: アンカー・鉄筋配筋



▲施工中②: 吹付け状況



▲施工後



テナント営業中



一方通行



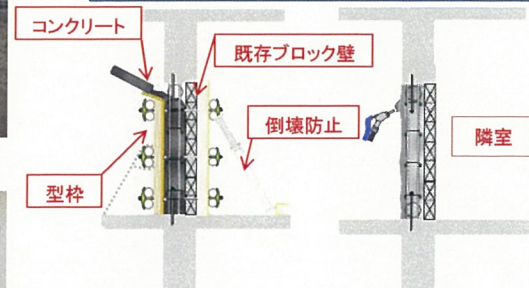
プラント設置



幹線道路沿い



本施工事例は既存ブロック壁の隣室が使用されている場合で既存ブロック壁の補強や、隣室の仕上がり材の撤去、隣室への仮囲いの設置が必要であったがAP工法により上記省略と工期短縮が実現した。



<従来工法>

<AP工法>

既存ブロック壁への増し打ちを行った
耐震改修事例②

テナントビル ● 東京都

DATA

築年数: 築〇〇年()
構造・規模: RC造(地上〇階建て)
施工数量: 約3.3m(壁2カ所)
吹付け厚: 300mm
工事期間: 〇〇日

AP工法協会
TEL: 03-6701-1371
FAX: 03-6701-1376